栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

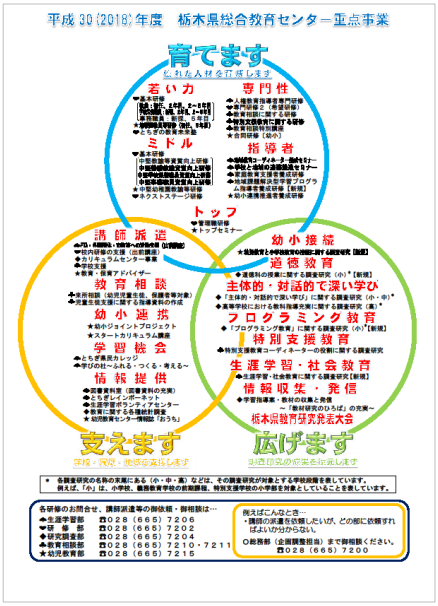
第 42 号　平成 30(2018)年４月 16 日発行

新年度のスタートに当たって

栃木県総合教育センター所長　大森　亮一

この度の定期異動で所長を拝命いたしました大森亮一です。関係者の皆様には、日頃から当センターの事業に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

当センターは、教職員研修、教育に関する調査研究、教育相談及び幼児教育の充実並びに県民の生涯学習活動への支援を推進し、学校教育及び生涯学習の振興に資する役割を担っております。



※　上の図をクリックしていただくか、スマートホン等でＱＲコードを読み取っていただくと、センターのホームページからＰＤＦデータをダウンロードすることができます。

この３月、いよいよ高等学校の新学習指導要領が公示されました。小学校・中学校・義務教育学校においては新学習指導要領の移行期間に入ります。当センターにおきましても、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」をはじめ、新学習指導要領等を見据えた調査研究を行い、積極的な情報発信に努めるなど、各学校等の新学習指導要領等への対応を支えてまいります。

また、教育公務員特例法の一部改正を受けて、県教育委員会では、昨年度、栃木県教員育成指標を定め、教員研修計画を策定しました。それに伴い、若手、ミドルリーダーの育成を中心に、当センターで実施する基本研修を大きく見直しました。その中で、センターで実施する研修と校内で実施する実践的な研修の往還を図り、各受講者が研修を通して、実践的指導力や同僚と協働して課題を解決する力、地域と連携する力などを身に付けていくことができるよう工夫しました。

その他、今日的課題にも積極的に対応してまいります。特に、「学校の安心・安全」については、管理職を対象とした研修をはじめとして、若手からベテランまで、各教職員がそれぞれの立場に応じて危機管理意識を高めることができるよう内容を充実させました。

当センターは、今年度も「総合教育」の名にふさわしいシンクタンク機能を発揮し、積極的な情報発信と政策提言に努め、「とちぎの人づくり」に寄与してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ～お弁当の販売について～

当センターには食堂施設がありません。また、近くに昼食をとったり買ったりできる場所も十分にはありません。そのため、これまでは業者の御厚意により、研修がある日の朝、お弁当の注文を受け付け、昼に届けていただいていましたが、昨年度は注文を取りに来られない日もありました。

そこで、今年度から、あらかじめ業者の都合をうかがい、お弁当の販売がある日をセンターのWebサイトでお知らせすることにしました。研修などでセンターにお越しの際は、事前に御確認ください。

〈確認の仕方〉

当センターのホームページ（TOP画面）から下のアイコンをクリックすると、お弁当の販売がある日を確認することができます。原則として、その月の最後の週に、次の月の予定を掲載します。

栃木県総合教育センターのお弁当販売日について（詳細はこちら）

【問合せ先】総務部（℡ 028－665－7200）

御活用ください ～冊子・パンフレット紹介～ 広げます

第 41 号に引き続き、平成 29 年度の調査研究の成果をまとめた冊子・パンフレットを紹介します。これらは各学校に発送するとともに、当センターの Web サイトにも掲載しています。

①とちぎの親子を笑顔にするヒント～栃木県の家庭教育支援実態調査から～

このリーフレットは、平成29年度に行った「家庭教育支援に関する実態調査」の結果を基に、家庭教育に関する学習機会を企画する際のヒントをまとめました。

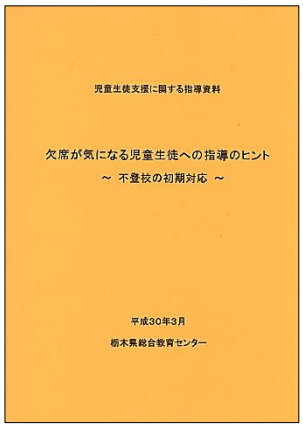
調査研究は、家庭教育支援についてPTA指導者研修の参加者や、県内の市町教育委員会や公民館等の家庭教育担当者にアンケート調査を行い、特色のある取組についてヒアリング調査を行いました。そこから見えてきた、保護者や教職員が子育てに関して学んでみたいテーマや、市町、公民館等の実践事例を掲載しています。

是非、家庭教育学級の運営やPTAの研修会等で内容を企画する際に、御活用ください。

→Click！ http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/Search/Res/h29/top.html

【問合せ先】生涯学習部（℡ 028－665－7206）

②欠席が気になる児童生徒への指導のヒント～不登校の初期対応～

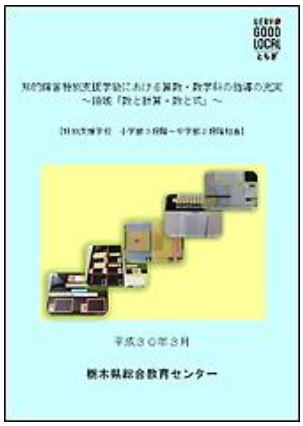


この資料は、不登校の初期対応を考える際に、先生方のヒントになることをねらいとして作成しました。欠席が気になる子どもたちに対して、欠席し始めた初期の段階から適切に対応することで、不登校になることを防ぐことができると考えます。各校において、今後不登校になることが心配される子どもたちへの指導・支援を考える際に、是非お役立てください。

この資料は、センターのHPからもダウンロードが可能です。リーフレット「児童生徒への適切な指導のために～指導の進め方～」、「児童生徒への適切な指導のために～かかわりの基本～」、「児童生徒への適切な指導のために～ケース会議の進め方～」と合わせて、御活用ください。

→Click！ http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-h29-2.htm

③知的障害特別支援学級における算数・数学科の指導の充実～領域「数と計算・数と式」～[特別支援学校　小学部３段階～中学部２段階相当]



知的障害特別支援学級において、児童生徒一人一人の実態に応じた算数・数学科の指導が行えるよう、領域「数と計算・数と式」について、指導内容段階表と指導例を作成しました。

指導内容段階表は、児童生徒の実態を把握し、指導目標を設定する際に活用できます。指導例については、実際の指導を行う際に参考にしてください。

また、本資料は、特別支援学校における小学部３段階～中学部２段階に当たる内容となっております。特別支援学校においても、是非、御活用ください。

→Click！ http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-h29.htm

【②、③の資料に関する問合せ先】教育相談部（℡ 028－665－7210・7211）

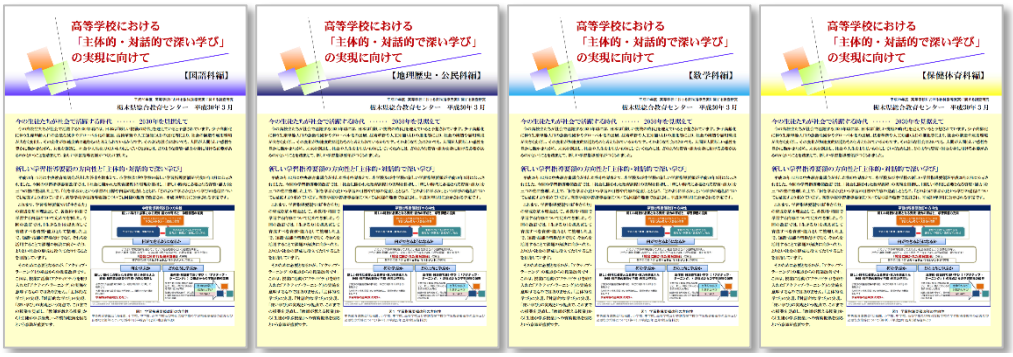
④授業研究会の効果的な運営

授業研究会の効果的な運営方法やワークショップ型研究協議の進め方についてのDVDを作成しました。本DVDは、Part１からPart４の四つのパートから構成されており、Part２、Part３では、実際の協議場面例を挙げて、ファシリテーターがどのように言葉かけをしていくかを、ポイントと共に示しています。

DVDの映像資料は、下記のWebサイトからダウンロードして（パスワードは後日学校に送付されます）視聴することもできます。運営者が事前に視聴して準備や運営の参考にしたり、参加者全員で研究協議の進め方について視聴して確認したりするなど、幅広く活用することができますので、授業研究会を行う際には、是非、本DVDを御活用ください。

→Click！ http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/h29_kounaikenshu/

⑤高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて



左：冊子『高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて』

上：教科別パンフレット（国語科編、地理歴史・公民科編、数学科編、保健体育科編）

生徒一人一人の確かな学力を育むために、高等学校の教科指導における今日的な課題を解決するための指導実践事例を集めました。

今年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について、国語科、地理歴史・公民科、数学科、保健体育科、芸術科の五つの教科で紹介しています。各事例の概要については、教科別のパンフレットで紹介しています（芸術科を除く）。パンフレットは４月に県内の高等学校等に配布する予定です。また、当センターのWebサイトからダウンロードすることもできますので、授業づくりの参考として是非、御活用ください。

冊子『高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて』では、本調査研究の背景や「主体的・対話的で深い学び」の三つの視点、各事例の詳細等について掲載しています。併せて御覧ください。

→Click！ http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/kyokasido_h29/

【④、⑤の資料に関する問合せ先】研究調査部（℡ 028－665－7204）

○今年度開催予定の各研修の案内（期日、内容、持参物や課題などの連絡）
・小学校・中学校・義務教育学校はこちらから　・高等学校・特別支援学校はこちらから

○受講手続き等の案内
・小学校・中学校・義務教育学校はこちらから　・高等学校・特別支援学校はこちらから